

第15回 小山市地域公共交通会議 議事要旨

開催の概要

日 時：平成23年6月28日（火） 16時00分～16時40分

会 場：大会議室北

出席者：大久保（市長）、大山、岸*、渡辺*、齋藤（以上、2号委員）

（敬称略） 島田（3号委員）、西根、中山、速見、川又、田村、中屋（以上、4号委員）

高山、寺内*（5号委員）、櫛下、安西*（以上、7号委員）、永井（9号委員）

山崎、早乙女、上野（以上、10号委員） （*は代理）

内 容：

- （1）間々田東西線の変更について
- （2）東部デマンドの変更について
- （3）西部再編の最終確認について
- （4）その他

議事要旨

（1）間々田東西線の変更について

資料に基づき、以下のとおり事務局より説明があり、質疑応答はなく了承された。

- ・平成22年10月に再編成を行ったが、次の内容を主とした一部再編を行う。
- ・五料地区と国道4号の区間において平成23年1月に開通した間々田アンダーパスを通行するルートに変更し、同時に五料停留所の位置を変更する。これにより、狭隘な踏切と前後の道路の通行がなくなり、五料住宅街を大型バスが通り抜けることによる騒音や交通安全上の課題がなくなる。
- ・富士通テンの通勤者の利便性、小山南高校の通学の利便性の向上のために、朝夕のダイヤを改善する。これにより再編成によって減少した利用者の回復を図る。

（2）東部デマンドの変更について

資料に基づき、以下のとおり事務局より説明があり、質疑応答はなく了承された。

- ・桑エリアの利用状況が少ないことも鑑みて、東部地区全体で予備車を含めた配車計画を見直し、桑絹地区を2台 1.5台、大谷地区を1台 1.5台とする。
- ・車両借り上げ費を2700円/台 2400円/台とし、費用削減をはかる。

（3）西部再編の最終確認について

資料に基づき、西部地区の思川線・道の駅線の運行の内容、及びデマンド化の内容について事務局より説明があり、質疑応答ののち了承された。

- ・デマンド化に伴い、乗り継ぎ拠点と小山駅西口を結ぶ思川線と道の駅線を新設する。
- ・市西部を豊田地区、中・穂積地区、寒川・生井地区に分けてデマンドバスの運行を行う。
- ・デマンドバスの事業者についてはコンペの結果、大山タクシーを選定した。
- ・デマンドバスは3地区を3台のセダン型タクシーにより運行するが、1日最大27便の範囲であれば需要の変動に応じて各地区相互に臨機応変に配車できることとしている。

[主な質疑応答]

委 員：デマンドについては乗り継ぎなどを十分に検討しているように感じるが、たとえば路線バスから降りた利用者が、始発（出発地）で予約なしにデマンドバスに乗ればもっと便利だと思うが、やはり予約は必要か？

事務局：予約がなくても乗れることにしてしまうと、予約制度自体が形骸化してしまい運行計画が立てられなくなってしまうので、基本的には予約制で運行したい。ただし、混乱を生じない範囲でどの程度の利便性向上を図れるか、事業者と相談してみたい。

（4）その他

市民病院の停留所の改善について事務局より説明があった。

- ・正面玄関付近に停留所を移動し、待合所を整備する予定である。
- ・これによって、薬局周辺の狭い道を周回する必要がなくなり、より安全な運行が確保できる。
- ・病院では停留所付近の路面にバス、タクシー、救急車の停車区分等を表示する予定であり、混乱のないようにしていきたい。（以上）